

19 水海道公民館基本構想策定事業【更新】

教育委員会 生涯学習課

令和6年度予算額 1,000千円

予算書P165／単独

公民館の機能充実と市街地の活性化

■事業概要

水海道公民館の改築方法について、自主財源のみならず民間のノウハウを活用した方法について、調査研究を行う。

■背景・目的

水海道公民館は昭和48年建築（築51年経過）であり老朽化が著しいことから、改築や移転等が求める声が寄せられている。

■水海道公民館の利用状況

令和3年度：30,264名 令和4年度：31,364名

■事業費内訳・財源

基本構想策定業務費 1,000千円（市単独）



老朽化した水海道公民館を新たな施設とすることにより、更なる機能の充実と水海道市街地の賑わい創出・活性化へつなげる。

財政が厳しい中で公共施設の更新を実施するにあたり、市による建設と民間活用による建設どちらが費用対効果が高いかを精査した上で、新しい公民館の建設方針を決定する。